

13位 F C マルヤス岡崎

2勝2分6敗 勝ち点8

対

9位 ホンダロック S C

3勝3分4敗 勝ち点12

【対戦成績：マルヤス1勝1分0敗】

第17回

J F L ファーストステージ 第11節
F C マルヤス岡崎 対 ホンダロック S C

13時00分
試合開始

咲き誇れ

二十二輪の花たちよ

企業チーム同士の対決となる今節。我々F C マルヤス岡崎はJ F L 昇格二年目。一方のホンダロック S C は豊富な経験を持ち、天皇杯でJリーグチームを相手に勝利を収めた経験もある。昨年の対戦では無敗と相性の良い相手ではあるが、現在の位置関係ではロックが上位。企業チーム勢ではマルヤスの順位が最も低いだけに、この試合に勝つことで意地を見せつけたい。四月末から始まったホームでの三連戦も今日が最後。是非とも無敗のまま連戦を終えたい。

季節は麦秋。数多の花が薫風に揺れる中、今日の試合を迎える。北国に春が訪れ、ここ愛知では葉桜が見られるが、緑の芝生の上では選手たちが二十二輪の花を咲かせる。

マルヤスはここ三戦無敗。

徐々に調子を上げて降格圏を脱し、中位に食らいつつこうかという勢いで勝ち点を加えている。無論この程度で満足するわけではなく、今季初の連勝と上位への進出を目指す。

対するロックはこのところ失速気味。今期は開幕から四戦無敗で首位にも立ったが、逆にその後は六戦未勝利で順位を下けている。当初の快進撃を「春の珍事」と嘲った人間を見返すためにも、本来の実力を発揮して久々の勝利を掴みたいはず。

今日を含めて残り五試合となったファーストステージ。下位のチームも調子を上げているだけに、両チームとも上の集団に加わり良い形で最後の追い込みに入りたい。勝負所で置かれることなく、この位置から一気の捲りを仕掛けていくのはどちらのチームなのか。

今日が最終回 ゴールキーパー 大特集

ホーム三連戦でお届けしてきたゴールキーパーの特集記事。いよいよ今号で最終回を迎えることとなった。早速選手たちへの質問とその回答をご紹介します。

問 GK というポジションの魅力は？

木下「良くも悪くも勝敗に直結するところ。」

藤井「特殊なポジションで選ばれた一人しか試合に出られないところ。GKにしか感じられないプレッシャーや達成感がある。」

豊富な経験を持つ両者らしい答えが返ってきました。特に、藤井選手の答えにはポジションに対する誇りが感じられます。

さて次の質問へ。

問 「試合中、GKのここに注目して観戦すると楽しめる！」というポイントは何？

木下「味方が攻撃をしている時に、GKが何をしているのかを見ると面白いかもしれない。」

藤井「失点しない為にどんな準備をしているか、ボールに触れていない時も注目していたらGKのイメージが変わると思います。」

両選手ともに似た内容の答えでした。今日の試合でも、マルヤスの攻勢時にGKの動きを注目して見ると新たな楽しみが生まれるかもしれませんね。続いては中根選手への質問とその答えです。

問 目標とするGKは誰ですか？

中根「樫崎正剛選手。小学校の頃からスターだったので。」

名古屋グランパスで活躍する、日本を代表するGKの名前が挙がりました。

問 フィールドプレイヤーと比べてお金はかかりますか？

中根「はい。特にグロウプにお金がかかります。」

ユニフォームも異なり、必要な道具も多いGK。やはり他のポジションよりもお金がかかるそうです。

三試合に渡ってお届けしてきたGK特集。いかがでしたか？どうしても失点の場面に目を向けられやすいポジションですが、実は彼らのおかげで勝利を掴むことも多いんです。これをきっかけに、GKに対する興味と理解が深まれば幸いです。

【完】

プレイングマネジャー
やまむら

舶来の風を貴方に・・・



まるこそ百貨店

狭いスペースを有効活用！
攻めの投資をしませんか？

地用ら
士活な

地主園商事

次回 ホームゲーム

五月二十四日(日曜日) 十三時 於 名古屋市港サッカー場
第十一節 FCマルヤス岡崎 対 アスクラロ沼津



岡崎対宮崎 ダービーダービー

岡崎と宮崎は、共にダービージョッキーを輩出した地域である。言うなれば、今節の対戦カードは「ダービーダービー」なのだ。

愛知県岡崎市出身の栗田勝はコダマとシンザンに騎乗し二度ダービーを制覇。特にシンザンではその後三冠を制し、同馬の名前は競馬ファンならずとも耳にしたことがあるはずだ。栗田自身の成績は通算七六六勝。確かな腕を誇り一線級で活躍を続けたが、惜しくも四十七歳の若さでこの世を去った。

その栗田と同じく武田文吾厩舎で腕を磨いたのが、宮崎県出身の安田伊佐夫である。昭和三十九年にデビューを果たすと、その七年後には全ての騎手たちにとつての夢であるダービーを制覇。晴れてダービージョッキーの仲間入りとなったが、このレースには兄弟子の栗田との間に隠されたエピソードがあったのである。

第三十七回 東京優駿 日本ダービー

昭和四十五年 五月二十四日。数えて三十七回目となるダービーで、栗田は九番人気のシュウチョウに、安田は二強の一角と言われた二番人気のタニノムーティエにそれぞれ騎乗していた。上位人気のタニノムーティエを操る安田。そろそろ仕掛けるべきか。そんな彼の心を見抜いたのは、兄弟子の栗田だった。息切れして後退していく馬の背から、栗田が安田にかけた一言。

「まだ早い。」

直線半ば、粘るダテテンリュウに並びかける安田とタニノムーティエ。かわすか。かわせるか。二千四百メートルを走り切ったとき、僅かに前に出ていたのはタニノムーティエだった。それは同時に、岡崎市出身の栗田勝と、宮崎県出身の安田伊佐夫の二人の友情が実った瞬間でもあった。



今節のイベント情報

○選手と遊ぼう企画第六弾
FCマルヤス岡崎
サッカー広場

今シーズンからの新たな恒例行事となった選手と遊ぼう企画。今日はサッカー教室を開催！風薫る季節、緑の芝生の上でマルヤスの選手たちとサッカーを楽しみましょう！

刻 十時から十一時
於 ピッチ内

○ケータリングカ
メニユー大募集

Tea House
Shimaさんとのコラボ
レーションで出店中のケータ
リングカ。その販売メ
ニユーのリクエストを皆様か
ら大募集中です！

刻 試合開始前
於 入場口正面の投票所



○ウエルカムミュージッ
クサービス

毎度おなじみ流浪の企画
ウエルカムミュージックで
す。試合前、対戦チームの選
手を紹介する際には、その
チームとつながりのある一
曲をBGMとして使用！
今回は、メンバーの一人
が宮崎市出身である「あの
フオークデュオ」の曲を
チョイス。シンブルイズベ
ストの精神に則ったスタジ
アムDJからのプレゼン
ホンタロックSCサポー
ターの皆様、是非お楽しみ
に！

【豆知識】
筆者 実はロシアのソチ
に行つて温泉を満喫して
みたい。

本日の
ボールパーソン

本日のボールパーソンは、
東海学園高校サッカー部の
皆さんです。試合運営へ
のご協力、誠にありがとうございます。
ご来場の皆様、是非温か
く迎えたいと思います。
よろしくお願いいたします。

取材・執筆・文責
スタジアムDJ

FCマルヤス岡崎
公式ウェブサイト

<http://fc-maruyasu.jp/>

○試合、チケット、後援会の情報等が盛り沢山です○